

平成 24 年度 “CERA” 資格認定について

日本アクチュアリー会（理事長：野呂 順一）は、平成 24 年度から、ERM（エンタープライズ・リスク・マネジメント）の専門資格である“CERA”の資格認定を開始いたしました。“CERA”資格認定の概要、平成 24 年度の結果について、以下のとおり発表いたします。

1. “CERA” 資格認定の概要

近年、アクチュアリーは、数理技術等の専門性やリスク管理職務の実績を活かして、ERM（注 1）分野での積極的な貢献が必要との認識が国際的にも高まっています。そのため、平成 22 年に、日本アクチュアリー会を含む世界のアクチュアリー会（注 2）が、「グローバルな ERM 資格認定に関する協定書」（Global Enterprise Risk Management Designation Recognition Treaty）に署名し、国際的に統一された ERM 専門資格である“CERA”を、各国間で相互に認定することになりました。

（注 1） ERM（エンタープライズ・リスク・マネジメント）は、一般的には、経済産業省の「先進企業から学ぶ事業リスクマネジメント実践テキスト」の中で、『リスクを全社的視点で合理的かつ最適な方法で管理してリターンを最大化することで、企業価値を高める活動』とされている。（ERM とほぼ同義で使用されている事業リスクマネジメントの定義）

また、保険事業における ERM については、金融庁の「保険検査マニュアル」の中で、『保険会社の直面するリスクに関して、潜在的に重要なリスクを含めて総体的に捉え、保険会社の自己資本等と比較・対照し、さらに、保険引受や保険料率設定などフロー面を含めた事業全体としてリスクをコントロールする、自己管理型のリスク管理を行うことをいう。』とされている。（ERM とほぼ同義で使用されている統合的リスク管理の定義）

（注 2） 「グローバルな ERM 資格認定に関する協定書」に署名したアクチュアリー会は、以下の 14ヶ国である。（平成 25 年 3 月現在）

- ・ オーストラリア「The Institute of Actuaries of Australia」
- ・ カナダ「Canadian Institute of Actuaries / Institut Canadien des Actuairees」
- ・ 台湾「Actuarial Institute of Chinese Taipei」
- ・ ドイツ「Deutsche Aktuarvereinigung e.V.」
- ・ フランス「Institut des Actuairees」
- ・ イスラエル「Israel Association of Actuaries」
- ・ 日本「日本アクチュアリー会」
- ・ メキシコ「Colegio Nacional de Actuarios A.C.」
- ・ オランダ「Het Actuarieel Genootschap」
- ・ 南アフリカ「Actuarial Society of South Africa」
- ・ スウェーデン「Svenska Aktuarieföreningen」
- ・ スイス「Swiss Association of Actuaries」
- ・ 英国「Institute and Faculty of Actuaries」
- ・ 米国「Casualty Actuarial Society」「Society of Actuaries」

2. 日本アクチュアリー会の“CERA”資格認定について

日本アクチュアリー会では、次の要件をすべて満たした者に対して、“CERA”資格を付与しています。日本アクチュアリー会で“CERA”資格を取得すれば、米国・英国をはじめ、協定書加盟国14カ国において、ERMの専門職として活躍できます。

- (1) 日本アクチュアリー会の正会員
- (2) “CERA”試験に合格
- (3) “CERA”研修を修了 等

3. 平成24年度の“CERA”資格認定について

日本アクチュアリー会による平成24年度の“CERA”試験、“CERA”研修は次のとおり実施されました。

- (1) “CERA”試験
 - ・ 日時：平成24年10月3日（水）14:30～17:30
 - ・ 受験者数：68名
- (2) “CERA”研修
 - ・ 日時：平成24年12月14日（金）13:30～19:30、同15日（土）8:50～19:00
 - ・ 受講者数：54名

上記の結果、“CERA”試験に合格し、かつ、“CERA”研修を修了した9名が、日本アクチュアリー会による初めての“CERA”資格者として承認されました。

< “CERA”資格認定証授与式の様子 >



以上

(参考1)

社団法人日本アクチュアリー会について

1. 目的

本会は、アクチュアリー学の総合的調査研究活動を通じ、アクチュアリー専門職としての職務遂行能力の維持向上及びその関与する事業の健全な発展を図り、もって国民生活の安定及び国民経済の健全な発展に資することを目的としています。

2. アクチュアリーとは

アクチュアリー (Actuary) は、確率・統計などの手法を用いて、不確定な事象 (=リスク) を扱う数理のプロフェッショナルです。

また、アクチュアリーは、保険事業・年金事業等の財政の健全性の確保や制度の公正な運営に努めることを主な業務としており、広く諸外国にも存在する専門職です。

3. 概要

本会は、明治32年(1899年)に創立された100年を超える歴史を持つ伝統ある団体であり、上述の目的に沿って、アクチュアリー学の研究調査、アクチュアリー教育・育成、資格試験の実施など幅広い活動を行っています。

また、本会は、保険業法第122条の2の規定に基づく指定法人として、

- － 保険会社の保険計理人の実務基準
- － 標準責任準備金の計算の基礎となる係数である標準生命表

の制定及び必要な改正を行う業務などを行っています。

日本アクチュアリー会の歴史	日本アクチュアリー会の主な事業
1899年 創立	・ アクチュアリー学の研究調査
1936年 正会員資格試験の開始	・ アクチュアリー専門職としての資格試験の実施
1939年 保険計理人制度の発足(保険業法)	・ アクチュアリー専門的知識・技能に関する教育・研修
1963年 社団法人化	・ 国内および国外の関係学会または関係団体との連絡および協力
1976年 国際アクチュアリー会議 東京開催	・ 年次大会・例会・研究会・講演会その他の会合の開催
1995年 東アジアアクチュアリー会議 東京開催	・ 会報その他の刊行物の発行
1996年 国際アクチュアリー会(IAA)の正会員となる	・ 関係官庁等からの諮問に対する答申、または当該機関に対する建議
1999年 創立100周年記念行事の開催	・ 指定法人として主務官庁から委託を受けた業務
2000年 保険業法上の指定法人となる	
2007年 東アジアアクチュアリー会議 東京開催	

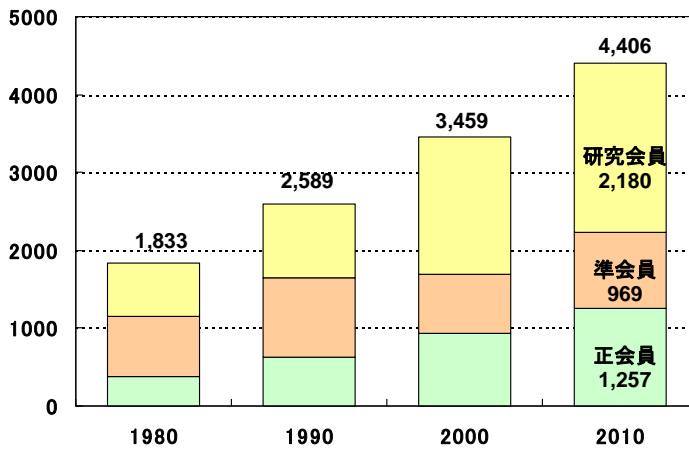
4. 会員数

本会の会員には、資格試験の合格状況などに応じて、正会員、準会員、研究会員などの区分があります。平成25年2月末日現在の会員数は次のとおりです。

個人会員	正会員	1,330名
	準会員	921名
	研究会員	2,271名
	合計	4,522名
賛助会員		113法人

また、アクチュアリーへの認知度の向上、活躍するフィールドの拡大等により、本会の会員数は増加しています。

＜「会員数の推移（個人会員）」＞ (単位：人)



5. 日本アクチュアリー会の資格試験

資格試験の科目は、下図のとおりです。正会員資格は、全科目に合格し、かつ、所定の研修を受講した者に与えられます。準会員資格は、基礎科目の5科目全てに合格した者に与えられます。

基礎科目 ・ 5科目とも必須	数学	確率・統計・モデリング	
	生保数理	生保数理の基礎および応用	
	損保数理	損保数理の基礎および応用	
	年金数理	年金数理と年金財政の基本	
	会計・経済・投資理論	会計・経済・投資理論の基本	
専門科目 ・ いずれかのコース を選択 ・ 各コース2科目	生保コース	生保1	生保商品の実務
		生保2	生保会計・決算
	損保コース	損保1	損保商品の実務
		損保2	損保会計・決算・資産運用
	年金コース	年金1	確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度並びに年金関係税務・会計
		年金2	公的年金制度および厚生年金基金制度

(参考2)

国際アクチュアリー会 (IAA) について

IAA (International Actuarial Association) は、世界各国のアクチュアリー会を会員とする国際的な専門職団体・教育調査機関であり、保険会計、保険監督、年金・従業員給付、社会保障、教育等の多くの委員会が設置され、多岐に亘る範囲で活発な活動が行われています。日本アクチュアリー会は、IAAの主要なメンバーであり、IAAの多くの委員会に委員を派遣して、IAAの活動に大きく関与しています。現在のIAAに加盟している各国のアクチュアリー会は、次の83ヶ国です。

アメリカ	Society of Actuaries	アイルランド	マレーシア	コートジボワール	ルーマニア
	American Academy of Actuaries	ベルギー	クロアチア	レバノン	韓国
	Casualty Actuarial Society	香港	ギリシャ	エストニア	スリランカ
	Conference of Consulting Actuaries	中国	ハンガリー	ケニア	タンザニア
	American Society of Pension Professional &	ノルウェー	フィリピン	アルメニア	トルコ
英国	Institute and Faculty of Actuaries	アルゼンチン	チェコ共和国	アゼルバイジャン	ウガンダ
	Channel Islands Actuarial Association		カリブ地域	バングラデシュ	ウクライナ
ドイツ		シンガポール	スロベニア	ベニン	ジンバブエ
カナダ		オーストリア	セルビア	カメルーン	
オーストラリア		インド	タイ	チリ	
フランス		イタリア	ブルガリア	コロンビア	
スペイン	Instituto de Actuarios Espanoles	台湾	キプロス	グルジア	
	Col. Legi d'Actuaris de Catalunya	デンマーク	パキスタン	ガーナ	
日本	Institute of Actuaries of Japan	インドネシア	スロバキア	カザフスタン	
	Japanese Society of Certified Pension	スウェーデン	モロッコ	ルクセンブルク	
オランダ		ニュージーランド	ホースニアヘルツェゴビナ	マケドニア	
南アフリカ		ロシア	リトアニア	モルドバ	
ブラジル		ポーランド	プエルトリコ	モンゴル	
スイス		イスラエル	ラトビア	ナミビア	
メキシコ	Colegio Nacional de Actuario A.C.	フィンランド	アイスランド	ナイジェリア	
	Asociacion Mecicana de Actuarios A.C.	ポルトガル	エジプト	パナマ	